



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年2月6日

上場会社名 株式会社エス・ディー・エス バイオテック 上場取引所 東
 コード番号 4952 URL http://www.sdsbio.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寒河江 充宏
 問合せ先責任者 (役職名) 理事管理部長 (氏名) 深澤 良彦 TEL 03-5825-5511
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	8,262	1.0	427	△38.4	833	18.6	776	183.3
2019年3月期第3四半期	8,177	△13.3	694	△29.2	702	△41.6	274	△65.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	99.15	—
2019年3月期第3四半期	35.00	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	14,197	6,365	44.8
2019年3月期	13,659	5,822	42.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 6,365百万円 2019年3月期 5,822百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	12.50	—	12.50	25.00
2020年3月期	—	12.50	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,550	17.0	1,110	12.8	1,430	41.7	1,110	183.7	141.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期3Q	7,830,925株	2019年3月期	7,830,925株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	72株	2019年3月期	51株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期3Q	7,830,856株	2019年3月期3Q	7,830,876株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(2019年4月1日～2019年12月31日)における我が国の経済は、政府の経済政策による雇用・所得環境の改善、個人消費の持ち直しにより、緩やかな回復基調が続いております。ただし、通商問題を巡る緊張の増大が世界経済に与える影響に一層注意するとともに、中国経済の先行き、英国のEU離脱等の海外情勢の動向や金融資本市場の変動の影響等について留意する必要があります。

農業を取り巻く環境は、世界的には人口増加や新興国の経済成長等に伴って農作物需要が拡大しており、中長期的にも成長が継続するものと思われまます。一方で、世界農薬市場においては海外大手農薬メーカーの大型合併や事業売却が進んでおり、農薬市場における影響を注視していく必要があります。

このような中、当社の状況は、横浜工場原体製造設備の稼働を再開したことで、海外向けダコニール関連剤(原体及び製剤)の出荷が増加いたしました。ダコニール原材料の販売は減少いたしました。

その結果、当第3四半期累計期間の売上高は82億62百万円(前年同四半期比84百万円増)となりましたが、横浜工場において安全体制確認のため原体製造設備の稼働を抑制していたことや中国からの輸入原材料価格の上昇もあり売上原価率が上昇したことで営業利益は4億27百万円(前年同四半期比2億66百万円減)となりました。

その一方で、中国の関連会社からの受取配当金を計上したことで、経常利益は8億33百万円(前年同四半期比1億30百万円増)、四半期純利益は7億76百万円(前年同四半期比5億2百万円増)となりました。

当社の販売する製品は、農繁期に備え、冬季から春季にかけて出荷が集中する傾向にあります。そのため、第3四半期会計期間(10月1日から12月31日まで)、第4四半期会計期間(1月1日から3月31日まで)に売上が集中する傾向にあります。

当社は農薬事業セグメントのみの単一セグメントではありますが、事業の傾向を示すために品目別に販売実績を記載いたします。

(殺菌剤)

当第3四半期累計期間における売上高は25億96百万円(前年同四半期比7億65百万円増、41.8%増)となりました。これは主に、横浜工場原体製造設備の再開により、海外向けダコニール関連剤(原体及び製剤)の出荷が増加したことによるものです。

(水稻除草剤)

当第3四半期累計期間における売上高は31億62百万円(前年同四半期比3億42百万円増、12.2%増)となりました。これは主に、海外向けベンゾビシクロン関連剤(原体及び製剤)の出荷が好調に推移していることによるものです。また、2019年11月にベンゾビシクロンの登録を新たに取得したトルコ向けの出荷を開始いたしました。

(緑化関連剤)

当第3四半期累計期間における売上高は15億98百万円(前年同四半期比1億18百万円減、6.9%減)となりました。これは主に、2018年2月の工場事故の発生により前期上期に早期引き取りが生じた国内向けダコグリーン顆粒水和剤の出荷調整と、カルプチレート関連剤(原体及び製剤)の出荷が減少したことによるものです。

(殺虫剤)

当第3四半期累計期間における売上高は4億3百万円(前年同四半期比1億36百万円減、25.3%減)となりました。これは主に、D-D関連剤の出荷が減少したことによるものです。

(その他)

当第3四半期累計期間における売上高は5億円(前年同四半期比7億67百万円減、60.5%減)となりました。これは主に、ダコニール原材料の出荷が減少したことによるものです。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末(2019年12月31日)における総資産は141億97百万円であり、前事業年度末(2019年3月31日)と比べて、5億37百万円の増加となりました。

流動資産は98億5百万円であり、前事業年度末と比べて15億60百万円の増加となりました。これは、主に現金及び預金の減少96百万円、売掛金の増加7億70百万円、たな卸資産の増加3億50百万円、前払費用の増加19百万円、未収入金の増加4億82百万円があったためです。

固定資産は43億92百万円であり、前事業年度末と比べて10億22百万円の減少となりました。これは、主に有形固定資産の減少9億78百万円、投資有価証券の減少53百万円があったためです。

流動負債は46億63百万円であり、前事業年度末と比べて8億25百万円の増加となりました。これは、主に買掛金の増加5億72百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少2億47百万円、未払金の増加3億56百万円があったためです。

固定負債は31億68百万円であり、前事業年度末と比べて8億30百万円の減少となりました。これは、主に長期借入金の減少7億75百万円があったためです。

純資産は63億65百万円であり、前事業年度末と比べて5億43百万円の増加となりました。これは、主に剰余金の配当による減少1億95百万円と四半期純利益による増加7億76百万円、その他有価証券評価差額金の減少37百万円があったためです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想については、2019年4月25日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想からの変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	323,776	227,571
受取手形	648	—
売掛金	2,872,527	3,642,984
商品及び製品	3,768,579	3,536,100
仕掛品	8,521	5,855
原材料及び貯蔵品	646,442	1,232,432
前払費用	160,722	179,783
未収入金	408,296	891,195
その他	55,342	89,125
流動資産合計	8,244,855	9,805,048
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,115,349	918,290
構築物(純額)	194,721	103,577
機械及び装置(純額)	905,579	233,137
車両運搬具(純額)	5,427	6,800
工具、器具及び備品(純額)	89,428	77,697
土地	891,545	891,545
建設仮勘定	13,268	5,533
有形固定資産合計	3,215,320	2,236,582
無形固定資産		
ソフトウェア	31,062	25,707
その他	2,389	2,389
無形固定資産合計	33,451	28,096
投資その他の資産		
投資有価証券	750,638	696,890
関係会社株式	846,332	846,332
長期前払費用	3,143	1,807
繰延税金資産	517,718	534,176
その他	47,699	48,117
投資その他の資産合計	2,165,533	2,127,324
固定資産合計	5,414,306	4,392,003
資産合計	13,659,161	14,197,052

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	608,297	1,180,480
1年内返済予定の長期借入金	1,597,500	1,350,400
未払金	681,347	1,037,372
未払費用	715,246	737,997
未払法人税等	102,000	284,390
賞与引当金	122,685	44,950
預り金	4,166	24,151
その他	6,505	3,334
流動負債合計	3,837,749	4,663,076
固定負債		
長期借入金	3,851,000	3,075,600
退職給付引当金	137,816	84,462
その他	10,473	8,375
固定負債合計	3,999,290	3,168,437
負債合計	7,837,039	7,831,514
純資産の部		
株主資本		
資本金	810,360	810,360
資本剰余金		
資本準備金	77,527	77,527
利益剰余金		
利益準備金	183,200	183,200
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	4,522,200	5,102,924
利益剰余金合計	4,705,400	5,286,124
自己株式	△49	△67
株主資本合計	5,593,238	6,173,944
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	228,884	191,593
評価・換算差額等合計	228,884	191,593
純資産合計	5,822,122	6,365,537
負債純資産合計	13,659,161	14,197,052

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高		
商品売上高	33,247	46,021
製品売上高	8,143,785	8,215,995
売上高合計	8,177,033	8,262,017
売上原価		
商品期首たな卸高	10,015	17,175
製品期首たな卸高	3,556,116	3,751,403
当期製品製造原価	6,331,899	5,471,707
当期商品仕入高	40,352	24,038
合計	9,938,384	9,264,324
商品他勘定振替高	30	107
製品他勘定振替高	22,388	29,849
商品期末たな卸高	22,646	4,016
製品期末たな卸高	4,469,038	3,532,083
売上原価合計	5,424,279	5,698,267
売上総利益	2,752,753	2,563,750
販売費及び一般管理費	2,058,081	2,135,988
営業利益	694,672	427,761
営業外収益		
受取利息	898	805
受取配当金	31,242	438,523
火災損失引当金戻入額	12,693	—
為替差益	1,031	—
その他	7,081	1,684
営業外収益合計	52,948	441,013
営業外費用		
支払利息	23,213	20,502
廃棄物処理費用	21,700	0
為替差損	—	15,072
その他	0	0
営業外費用合計	44,913	35,575
経常利益	702,706	833,198
特別利益		
固定資産売却益	—	299
受取保険金	17,306	1,154,401
特別利益合計	17,306	1,154,701
特別損失		
火災損失	301,876	—
固定資産除却損	5,952	360
固定資産圧縮損	—	935,377
特別損失合計	307,828	935,737
税引前四半期純利益	412,183	1,052,162
法人税、住民税及び事業税	138,081	291,537
法人税等還付税額	—	△15,871
法人税等合計	138,081	275,666
四半期純利益	274,102	776,496

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

当社は、農薬事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

当社は、農薬事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。